

大型トラック250台に衝突被害軽減ブレーキを装備！

ミリ波レーダーで前方を検知・分析し、衝突の恐れがある場合に警報やブレーキ作動でドライバーに注意を促します。自動ブレーキで速度を低減し、被害の軽減を図ります。衝突速度を下げることで、被追突車両の死亡事故件数を約80%が軽減できると見込まれています。さらに今年の11月から大型トラックには同ブレーキシステムの装着の義務化決定しましたので、当社ではそれに先立ち早期から装着を進め、既に250台以上の大型トラックに衝突被害軽減ブレーキを装着しています。

日野自動車 PCS

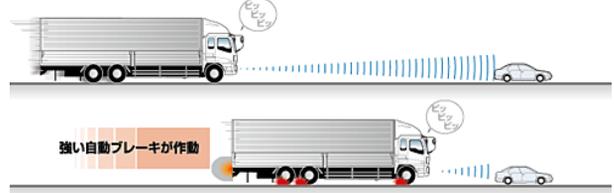


204台

いすゞ自動車 プリクラッシュシステム



19台



三菱ふそう AMBシステム

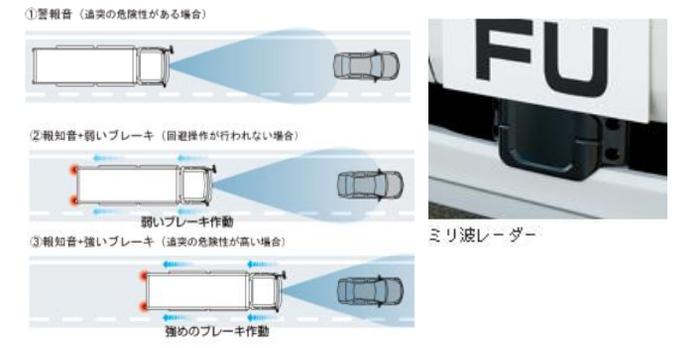


14台

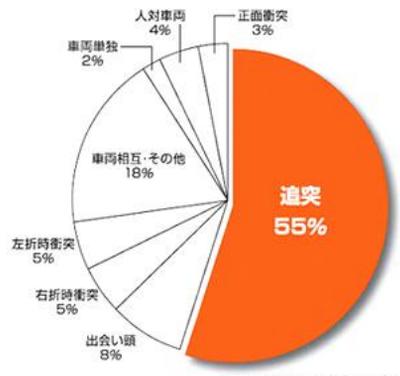
UDトラックス トラフィックアイブレーキ



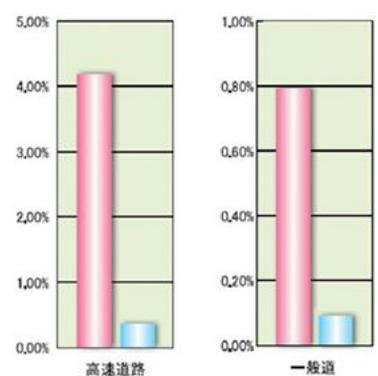
16台



大型トラックの事故の状況



追突事故を起こした場合に死亡事故となる場合



過去の事故データでは、大型トラックの事故の半分以上が追突事故で、死亡事故に至る可能性も、乗用車による追突事故に比べて約12倍も高いというデータがあります。

大型トラックの事故の約55%は追突事故であり、これによる死亡事故率は、乗用車に比べ約12倍高いという事故分析結果があります